

経営における 重点課題

カシオグループは、経営理念の「創造 貢献」のもと、ゼロから1を生む独創的な発想と先進的な技術をもって、社会への貢献を実践することにより、企業としての成長を図り、企業価値を高めることを経営の使命と考えています。

独創的製品の創造

世の中にまだなくても、誰が必要としているものが、世の中には無尽蔵にあります。カシオは、そのような未発見の「普遍的な必要性」を、商品企画力と技術力の両輪で実現させます。

これによって仕事や日常生活を便利に変え、新しい文化を創造します。ゼロから1を生み出すことで、より多くの人々を豊かにすることが、メーカーとして果たすべき役割と考えています。

常識にとらわれない発想

カシオの商品開発では、常に「独創的であるか」を重視します。他社のものまねをすることなく、オリジナルな発想で考えなければ、本当にお客様に喜ばれる商品とはできないと考えます。カシオの商品開発は「既成概念ゼロ」。従来の常識にとらわれず、使う人の立場に立って考えることで、本当に価値ある製品を考えます。

高水準の技術力

優れた商品企画であっても、技術がなければ製品にすることはできません。カシオは、豊かなデジタル技術によって、斬新な機能と高い性能を備え、なおかつ小型軽量・低消費電力で使いやすい製品を実現させ、生活のパートナーとして皆様にお届けしています。

具体的な事例(デジタルカメラ)

商品企画力	技術力	製品	社会貢献
撮ってすぐ見られる ↓ 液晶ディスプレイ搭載 デジタルカメラ	画像処理 / 表示技術 省電力技術 小型薄型化技術	 QV-10	デジタルカメラ文化の 誕生
いつでもどこでも撮れる ↓ ウェアラブルカードカメラ	高密度実装技術 マルチチップ基板 高速処理 LSI	 EXILIM	画像コミュニケーション の日常生活への定着
目で見えない動きが 撮れる ↓ 超高速撮影カメラ	高速画像処理技術	 EX-F1	デジタル独自の機能へ 進化

社会的責任の遂行

企業はさまざまなステークホルダーに対する責任を負っています。CSR とは、まさにこの責任を果たしていくことに他なりません。

カシオでは主なステークホルダーごとに、次のような責任を意識して事業を遂行しています。

(1) お客様に対する責任

前述のとおり、独創的な製品を創造し、社会に提供していくことはカシオの使命です。そのために、商品企画力を磨き、さまざまな要素技術を常に進化させています。

そして、開発した製品が、お客様に喜ばれ安心してご利用いただけるよう、製品の安定供給に努めるとともに、製品品質とサービス品質の向上に努めています。

(2) お取引先に対する責任

グローバルに展開するサプライチェーンにおいて、お取引先とともに社会的責任を遂行すべく、資材調達方針を共有し、良きパートナーシップの構築に努めています。

(3) 株主・投資家に対する責任

安定した成長を持続するために効率的な経営を推進し、株主利益の拡大を図るとともに、株主・投資家への公正かつ迅速な情報開示に努めています。

(4) 従業員に対する責任

一人ひとりの人権を尊重し、雇用機会の継続的な拡大を図るとともに、公平公正な人材登用による健全な企業風土の醸成に努めています。また、心身ともに健康でかつ安全に働ける就労環境の整備に努めています。

(5) 社会に対する責任

カシオのノウハウや経営資源を活かした特徴ある社会貢献活動を行い、広く社会に対する責任を果たすことに努めています。

そして、従業員がこうした責任を果たす拠り所として、「カシオ創造憲章 行動指針」を制定し周知するとともに、さまざまなマネジメントの仕組みを構築しています。

効率的な経営

継続的に安定した成長を続けるために、効率的な経営は欠かせません。カシオは、株主の皆様からお預かりした資本や工場などの設備、従業員の労働力などの資源から効率的に利益を生み出し、社会に還元していきます。

高収益性の確立

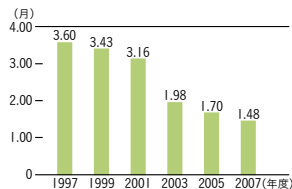
事業環境や経済情勢などの変化を吸収し、会社が安定的に成長を続けるためには、高水準の利益率を保つことが必要です。カシオは電子辞書、電波ソーラー時計などの事業で安定的に2桁台の利益率を確保しており、全社売上の約85%を占めるエレクトロニクス機器事業では、8.8%の営業利益率を達成しています。(2007年度実績)

今後も高付加価値の製品を生み出すための開発力強化、在庫の低減、経費の最適化などに継続的に取り組み、収益力の向上を図ります。

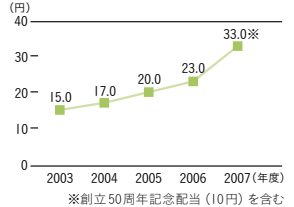
財務体質の強化

会社を経営していく上で、負債(借金)を減らし、事業の強化などに柔軟に資本を投入できるよう、自己資本比率およびD/Eレシオの改善を経営課題として継続的に進めています。

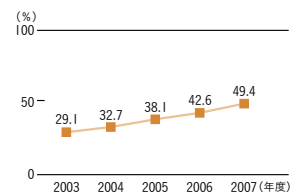
在庫回転月数の推移



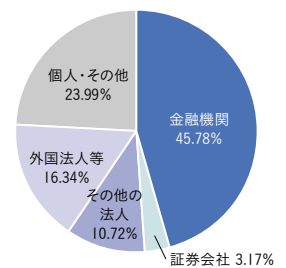
1株あたり配当金の推移



自己資本比率の推移

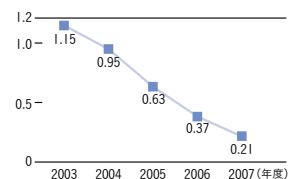


株主構成の比率



(2008年3月31日現在)

D/Eレシオの推移



地球環境への取り組み

カシオは、省エネ・省資源の商品開発を一貫して行ってきました。地球温暖化による環境危機が現実となる中で、カシオは「モノづくり」を通じて、環境負荷の低減と、人と地球にやさしい取り組みを推進しています。

(1) 環境関連法規制の世界規模での順守活動

有害化学物質の使用禁止および含有量規制(各国版 RoHS)や電機電子機器の廃棄・リサイクル法(欧州 WEEE 等)のグローバルな規制を順守して、開発・設計・製造・販売のすべてのプロセスにおいてグリーン商品(環境適合設計)活動を展開しています。さらに、REACH 規則「欧州化学品規制」に対応した管理の仕組み「新化学物質管理データベースシステム」の構築や EuP 指令(エネルギー使用製品指令)などの要求条件を満たす設計の検討など、「人と地球にやさしいグリーン商品」の取り組みを推進しています。

(2) 地球温暖化を抑制する温室効果ガスの代替ガス開発

温暖化係数が CO₂換算で1万倍のクリーニングガス NF₃を、2005年3月までに全面的に COF₂に切り替えました。さらに京都議定書で指定された温室効果ガス SF₆について代替ガスの開発に取り組み、F₂ガス転換への技術的な目途をつけることができました。この環境技術開発により CO₂換算排出量をゼロにし、半導体や液晶産業などの CO₂削減に貢献します。

(3) オフィスにおける先端的省エネ活動

八王子技術センターは、環境配慮設計がされた研究開発棟です。「省エネ検討会」による「毎日改善」活動により、設計性能を最大限に引き出す成果をあげています。「気象データによる予測制御」を付加したエネルギー管理システムで空調等を運転し、日常データをきめ細かく分析・管理し、省エネのアイデアや改善の効果を検証し整理して、さらなる効率運転に反映しています。その結果、東京都の「地球温暖化対策計画書制度」の中間報告において最高ランクの AAA 評価を受けました。